



宮司プレス 九十八号

彦島八幡宮 宮司ニユース
 発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十六年十二月二十一日

◇宮司の柴田です。

お待たせいたしました。宮司プレス九十八号の発行です。昨年十二月は、平成十八年六月からの発行以来、実に、七年半、九十一カ月連続発行を達成したのです。ところが、今年、ひと月遅れの発行が、五月まで続き、その後は、五月も発行されないという危機的状況を経て、軌道の修正を画策しているのが現状です。しかも、アニバサリーというべき百号を前にして、足踏み状態、半年遅れの発行です。

◇七世紀、奈良時代の天武天皇様は、生活の心掛けを「勤務追進（きんむついしん）」とおっしゃいました。勤は、自分のことは自分ですること、務は、世の為人の為に働くことと論（さと）されたのです。さらに、追は、人との競争に遅れないように努力すること、進は、人との競争に、常に抜きんでいくこと、つまり先頭をひた走ることと導かれました。私は、毎月一回発行という競いに、遅れているわけですから、「追進」という生活の心掛けを怠っていることになるのです。

気で、軌道の修正をはかってまいる所存です。

◇新古今和歌集に、「ありきつつ きつつくれども いさぎよき 人の心さへ われ忘れめや」という詠み人知らずの和歌があります。これは、「長い人生をみてきたときに、どうやら、心の清々しい人が、神の御心にかない、幸せな日々を送っているようだ」という歌です。文明が今のように進歩していない頃、自分の身の回りに起こるごく一部の不幸な出来事や病気や怪我は、ツミケガレからもたらされると考えられていました。したがって、そのツミケガレを祓い、大難は小難に、小難は無難にのがれ、人生に幸運が添うことを願ったのです。「天正」という年号があります。これは、老子の、「清静者天下正（せいせいはいてんかのせいなり）」つまり、「清く静かなる者は、天下の規範となる」、「清浄は天下を正しとなす」という意味です。天正という年号にも込められたように、神社神道は、清浄（せいじよう）を重んじ、そして、「清め祓（ばら）い」を大切にしてきたのです。

◇私は、その「清め祓い」とは、「祈り」だ

と考えています。お清めには、「禊（みそぎ）」と「祓（はら）い」があり、少し、意味合いが異なります。「禊」は、ツミケガレがなくても行うもので、「祓い」は、不浄なものに触れたり、不幸な出来事が起こった時に行います。実は、祈りには、「禊」と

「祓い」が含まれているのです。過去と今を清めるのが、「祓い」で、未来を清めるのが、「禊」と考えるわけです。神様の御前で、感謝の誠を捧げ、謙虚に自分を振り返る、これが、「祓い」で、過去と現在を清める、「外清浄（げししようじよう）」です。さらに、明日よりは、神様との約束を反故（ほご）にしないよう、一生懸命、身を削（そ）ぐ思いで励みますのでお守りくださいと誓いを立てる、これが、「禊」で、「内清浄（ないししようじよう）」なのです。

◇鎌倉幕府が開かれた頃の法律に、「御成敗式目（ごせいばいしきもく）」というのがあります。そこには、「神は人の敬によって威を増し 人は神の徳によって運を添う」とあります。神様は、我々が祈りを捧げ額（ぬか）ずけば額（ぬか）ずくだけ、お力が倍増されて、神様の御加護（ごかご）がより強力となり、人生の幸運が添うと書かれています。新古今和歌集、御成敗式目にも、祈りの尊さ、敬神生活の大切さが説かれています。

◇最近、読了した葉室麟著作の「紫匂う」と

いう本のなかで、「人は皆不心得者。 至らないところがあるとわかっているから、懸命に努めるところに、人の生き様の清々しさがある」と書かれていまして、不覚にも落涙してしまいました。 「至らないところがある」とわかってはいるが、これこそが清められた、破られた謙虚な清浄な心で、「懸命に努める」、これは、身を削ぐ思いで努める、禊なので。 ◇人間の脳は、楽観主義なのだそうです。 ニューヨーク大学の研究によれば、脳は、未来の幸福な出来事を想像した時に、最も活性化するように。 幸運なる人生を描きつつ、その実現を目指し、「祈りは欲を浄化する」、敬神生活を行うことで、実現に近づくと前向きな生活になるのではないのでしょうか。

- ◇今年も、余すところ、十日となりました。この一年を心静かに振り返り、神様から与えられた美しい心と体に近づき、清々しい生き方を心がけつつ、新年を迎えたいものです。
- ◇十一月の祭典行事報告
- ▼月次祭 *十一月一日、十五日
- ▼明治祭 *十一月三日
- ▼龍宮神社例祭 *十一月二日
- ▼彦島第二保育園参拝 *十一月五日
- ▼彦島中学校キャリアスクール(職場体験学習) 生徒六名受入

*十一月六日～七日



- ▼福浦金刀比羅宮月次祭 *十一月十日
- ▼朝粥会 *十一月二十一日
- ▼新嘗祭
- ▼彦島八幡宮 *十一月二十三日
- ▼六連島八幡宮 *十一月二十五日
- ▼大注連縄おろし *十一月三十日



- ▼煤払(すすはら)い *十一月三十日



◇十一月の宮司の行事会議等活動報告

- ◆八幡宮関係団体
- ▼敬神婦人会研修旅行 *十一月九日



- ▼責任役員常任総代会 *十一月十五日
- ▼維蘇志会役員会 *十一月二十五日
- ▼山口県神社庁、下関支部関係
- ▼総代敬合同研修総会 *十一月四日
- ▼下関支部三役会 *十一月二十七日
- ▼下関西ロータリークラブ例会
- ▼十一月五日、十二日、二十六日
- ◆講演活動
- ▼下関YEG(商工会議所青年部)サロンで、「さはやかに生きる」と題して講演

*十一月六日

- ◆教誨活動
- ※美祢社会復帰促進センター
- *十一月十日(集合教誨、女子)
- ◆自治会関係その他
- ▼小熊野神社例祭奉仕※実家の神社 *十一月十七日～十九日
- ▼西中国信用金庫総代会 *十一月二十日
- ▼社会福祉法人松美会評議員会 *十一月二十六日